

平成 28 年度 第 8 回 産業医科大学倫理委員会議事抄録

1 日 時 平成 28 年 11 月 9 日 (水) 13 : 30 ~ 17 : 05

2 場 所 1609 会議室

3 出席者 学内 : 藤野、井上、中山、原田、興梠、佐伯、庄司、廣、上野 (晋)、長野
学外 : 安元、田中

欠席者 学内 : 阿南
学外 : 櫻井

4 報告事項等

(1) 平成 28 年度第 7 回産業医科大学倫理委員会議事抄録 (案) について

藤野委員長から、資料に基づき提案があり、審議の結果、原案どおり承認された。

(2) 平成 28 年度第 7 回倫理委員会専門委員会 (持ち回り) について

上野 (晋) 委員長から、審査結果について、資料に基づき、次のとおり報告があった。

1) 平成 28 年度第 6 回倫理委員会専門委員会議事抄録 (案) が、原案どおり承認された。

2) 新規申請 1 件について、委員の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」することとした。

(3) 平成 28 年度第 7 回迅速審査小委員会 (持ち回り) について

中山委員長から、9 件の審査結果について、委員の指摘事項等に関する申請者の対応及び修正内容について委員長が確認したので、承認することとした、その内容は資料のとおりであるとの報告があった。

(4) 第 54 回医学系大学倫理委員会連絡会議について

藤野委員長から、埼玉医科大学を当番校として、平成 28 年 12 月 2 日・3 日に開催される旨の報告があった。

5 審議事項等

(1) 緊急審査について

藤野委員長から、本件については、臨床試験の対象となる新規患者が発生し、遅滞なく治療を開始する必要があることから、緊急審査が妥当であると判断され、委員長と副委員長が緊急で審査し、承認したことの説明があった。

申請者から、申請の経緯とその後の介入状態についての報告及び説明があった後、審査を行った。

申請者 : 医学部 小児科学 助教 本田 裕子

課題名 : 小児ランゲルハンス細胞組織球症 (LCH) に対するリスク別臨床研究 (LCH12)

審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 c) 評価項目 c) - 2 副次評価項目 (セカンダリーエンドポイント)
誤植がある。13 行目 % の前のスペースを削除する。

6. 医学からみた客観的意義（研究の科学的合理性の根拠）

誤植がある。2～4行目 %の前のスペース（4箇所）を削除する。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 1) 対象者の利益、負担及び予測されるリスクの総合的評価

誤植がある。5、6、10、11、13行目 回の前のスペース（6箇所）を削除する。

保護者の方への説明文書

14ページから15ページにかけて及び15ページから16ページにかけて文脈が繋がっていない。

18、19ページの表：治療スケジュールについて、『治療 A』、『治療 B』の文字の一部が隠れていて読めない箇所がある。

6 研究倫理審査

(1) 新規申請

- ① 申請者： 医学部 公衆衛生学 教授 松田 晋哉
課題名： 医療機関の病床区分や人員配置等に関する研究
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。

藤野委員長から、厚生労働省から提供を受けた National database 等を用いて行われる本研究は倫理面での対応が徹底されているので、今後、松田教授から同様の倫理審査研究計画書が提出された場合は迅速審査委員会の審査対象としたいとの説明があり、了承された。

- ② 申請者： 医学部 小児科学 准教授 下野 昌幸
課題名： 脳波周波数別トポグラフィ解析による脳機能推定の研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

2行目に研究事務局を追加する。

4～5行目 本研究の目的について書かれた文章について、文脈がつながるように修正する。

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

佐賀大学に送付した脳波の保管・廃棄についても記述する。

ホームページ掲載文書

7. 個人情報の取り扱い

10行目『親御さん』及び14行目『両親の一方』は『保護者』に変更する。

研究終了後のデータの保管・廃棄についての記述を追加する。

- ③ 申請者： 医学部 第1内科学 准教授 齋藤 和義
課題名： インフリキシマブの投与量を最適化したタイトコントロール治療による関節リウマチ患者の構造的寛解維持に関する後ろ向き観察研究（RRRR-XP Study）
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障

本研究は、他の研究機関から匿名化されたデータの提供を受けて行う研究であり、対象者からインフォームド・コンセントを受けることを要しない根拠となる「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の該当箇所に誤りがある。

第5章第12-1-(3) -ア→第5章第12-1-(4) 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）についても同様である。

- ④ 申請者： 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右
課題名： ハイリスク糖尿病患者におけるエンパグリフロジンの血管内皮機能に対する効果—多施設プラセボ対照二重盲検ランダム化比較試験— (EMBLEM trial)
Effect of Empagliflozin on Endothelial Function in Cardiovascular High Risk Diabetes Mellitus: Multi-Center Placebo-Controlled Double-Blind Randomized Trial
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法

最後の行に誤植（『0例（各群55名）』）があるので、正しく記述する。

- ⑤ 申請者： 医学部 第1外科学 教授 平田 敬治
課題名： 大腸癌に対する oxaliplatin 併用の術後補助化学療法終了後6か月以降再発例を対象とした oxaliplatin based regimen の有効性を検討する第Ⅱ相臨床試験 (INSPIRE 試験)
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法 1) この臨床試験で使用するお薬について (4)分子標的治療薬（抗体医薬）

誤植がある。4行目 パニツムマブ→パニツムマブ 漢字をカタカナに変更する。7. 研究対象者に生じる利益、負担および予測されるリスク 2) 予想される副作用について (7)パニツムマブの重大な副作用一覧も同様である。

- ⑥ 申請者： 医学部 リハビリテーション医学 教授 佐伯 覚
課題名： 産業保健領域における運動を主とする介入に関する実態調査
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）

大企業としては、本社あてに送付されても対応に苦慮するのではないか。回収率を上げるためには、選定を見直したほうが良い。

アンケート送付状

あて先を産業保健業務担当者ではなく産業保健業務責任者あてに変更する。
問い合わせ先は、本研究の実施分担者に変更する。

- ⑦ 申請者： 産業保健学部 安全衛生マネジメント学 講師 庄司 卓郎
課題名： 外国人技能実習生を対象とした安全啓発マンガの開発
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

『本研究は、高木元也氏との共同研究である』は、『本研究は、労働安全衛生総合研究所リスク管理研究センターとの共同研究である』に改める。

- ⑧ 申請者： 医学部 産科婦人科学 学内講師 稲垣 博英
課題名： 妊婦向けのウェアラブルデバイスを用いた健康管理に関する研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

広島市立大学大学院との共同研究であること、研究代表者を冒頭に記述する。

5. 実施計画 4) 場所

解析を広島市立大学大学院情報科学研究所で行うことを記述する。

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

採血量を追加で記述する。

本研究は、臨床介入研究ではなく、観察研究であるので、修正する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

参加者の方（健常者）への説明文書

5. 研究の方法

採血量を追加で記述する。

検査の頻度、自律神経バランス測定に使用する携帯用小型心電計の製造会社、アンケート調査の所要時間について、倫理審査研究計画書に記載された内容と一致していないので、修正する。

12. 個人情報の取り扱い

広島大学大学院情報科学研究所に個人情報が送付され解析されることについて記述する。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

広島大学大学院情報科学研究所での保管・廃棄について記述する。

- ⑨ 申請者： 医学部 分子生物学 教授 岩井 佳子
課題名： 肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果予測因子の検索
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法

誤植がある。下から5行目

[他の研究機関への試料・データの送付]→[他の研究機関からの試料・データの送付]

- ⑩ 申請者： 医学部 第1内科学 学内講師 中野 和久
課題名： 間質性肺疾患を伴う関節リウマチに対するタクロリムスの有用性の検討
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法

「各施設」とあるが、本研究は多施設共同研究ではないので、変更する。

- ⑪ 申請者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明
課題名： 心不全入院患者の予後予測における至適な心エコー図検査のタイミングは？：
多施設共同研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）

多施設共同研究の研究事務局及び代表世話人を記述する。

- ⑫ 申請者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明
課題名： 本邦の心不全患者でビタミンD不足は存在するか？
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

本研究では、BNPを測定するので、4. 実施概要（研究の背景・目的・意義）10行目の『NT-proBNP』は『BNP』に変更する。以下、該当箇所は全て同様である。

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）

本研究は、人体から取得された試料を用いる研究であること、匿名化されていないこと等から、対象者からインフォームド・コンセントを受けることを要しない根拠となる「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の該当箇所に誤りがある。

第5章第12-1- (2) -イ→第5章第12-1- (2) -ア- (7)

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄の方法

『使用した生体試料は本研究以外の目的では使用しない。また生体試料は通常の検査業務で使用する試料の残血清であるため、本研究終了後に通常検体の破棄法（凍結にて約1ヶ月保存後廃棄）に準じて破棄する。』は誤りであり、本研究の目的に沿った内容に修正が必要である。

- ⑬ 申請者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 部長、診療教授 竹内 正明
課題名： ビタミンDは心不全患者の新たな予後予測因子となりうるか？
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法
誤植がある。3行目 各施設→当院

参加者の方（患者さん）への説明文書

5. 研究の方法

当院を定期的に受診していない対象者の健康状態の確認は、死亡していることも想定した記述に変更する。

12. 個人情報の取り扱い

『使用した生体試料（検査の残りの血清）は本研究以外の目的では使用しません。』は誤りであり、本研究の目的に沿った内容に修正が必要である。

13. 試料・情報の保管及び廃棄の方法

研究終了後、生体試料を5年間保管するのは誤りである。倫理審査研究計画書 12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄方法の記述も同様である。

- ⑭ 申請者： 産業医実務研修センター 助教 永田 昌子
課題名： 事例性に応じた就業配慮検討ツールの開発と有効性評価
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 5) 方法 a) 研究デザインと具体的方法
8行目の厚生労働省が開発した職業適性検査には種類があるので、明確にする。

参加者の方への説明文書～事例性評価ツールの開発～

4. 研究の背景・目的・意義

誤植がある。9行目 『1』を削除する。

5. 研究の方法

グループインタビューに要する時間及び録音することについての記述を追加する。

12. 個人情報の取り扱い

インタビュー結果は固有の番号で管理し、対応表を作成しないことの記述を追加する。

同意書

本人が署名できるよう『氏名 印』、『住所』を追加する。

- ⑮ 申請者： 産業保健学部 産業・地域看護学 教授 中田 光紀
課題名： 睡眠問題を訴える労働者における寝具の改善効果
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法 (インフォームド・コンセントの手順)

対象者が複数の協力企業の労働者であることから、誰が説明を行うのか手順についての記述を追加する。参加者の方への説明文書についても同様である。

8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策

自律神経バランス測定の所要時間が参加者への説明文書 5. 研究の方法 に記載の所要時間が異なるので、統一する。

14. 研究費の資金源と利益相反について

奨学寄附金の寄付者についての記述を追加する。参加者の方への説明文書についても同様である。

- ⑯ 申請者： 産業生態科学研究所 放射線健康医学 教授 岡崎 龍史
課題名： 福島原子力発電所事故後の放射線影響についてのアンケート調査
審査要旨： 申請者の都合により取り下げの申し出があったとの説明があり、次回以降の審査とすることが了承された。

- ⑰ 申請者： 医学部 精神医学 講師 堀 輝
課題名： うつ病患者の就労継続要因の探索
審査要旨： 申請者の都合により取り下げの申し出があったとの説明があり、了承された。

- ⑱ 申請者： 医学部 精神医学 教授 吉村 玲児
課題名： COCORO への脳画像を含む個人情報提供
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

ホームページ掲載文書

6. 研究の方法

登録後に利用の拒否の申し出があった場合は登録を削除する旨の記述を追加する。

7. 個人情報の取り扱い

誤植がある。2行目 廃棄する。→廃棄します。

- ⑲ 申請者： 医学部 小児科学 助教 守田 弘美
課題名： 頭蓋内胚細胞腫瘍における髄液 PLAP 測定の有用性に関する前方視的研究
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

参加者の方 (患者さんおよび代諾者の方) への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義

15行目 PLAP について日本語での説明を追加する。

- ⑳ 申請者： 産業医科大学若松病院 産婦人科 助教 西村 和朗
課題名： 腹腔鏡下手術における術前超音波検査の有用性
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）
過去に手術を施行した患者についても調査も行うのであれば、対象者の追加を行う。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障
過去に手術を施行した患者についても調査も行うのであれば、あらかじめ情報を通知・公開し研究対象者が拒否できる機会を保障する方法による旨の記述を追加するとともにホームページ掲載文書を作成する。「3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）」についても同様である。
8. 対象者に生じる利益、負担及び予測されるリスク 2) 対象者の負担、予測されるリスクを最小化する対策
『超音波検査で膺ヘルニアや腫瘍など、予期せぬ疾患が判明する可能性がある』ことの利益、負担についての記述を、「1) 対象者の利益、負担及び予測されるリスクの総合的評価」に追加する。

参加者の方（患者さん）への説明文書

4. 研究の背景・目的・意義
4行目の『ポート』についてわかりやすく説明する。
6. 研究対象者として選定された理由
『20歳以上の患者さんで、』は『腹腔鏡下手術を受ける20歳以上の患者さんで、』に修正する。

同意書（試料・情報の長期保管について）

長期保管の年数の5年間は適切ではないので、変更する。

- ② 申請者： 産業医科大学若松病院 産婦人科 助教 西村 和朗
課題名： 子宮脱に対する腹腔鏡下仙骨子宮靭帯固定術の有用性
審査結果： 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

5. 実施計画 1) 対象者の選定方法（募集方法、選択基準・除外基準・中止基準等）
過去に手術を施行した患者についても調査も行うのであれば、対象者の追加を行う。
7. 実施事項等における倫理的配慮について 1) 対象者の自由な選択と同意撤回の保障
過去に手術を施行した患者についても調査も行うのであれば、あらかじめ情報を通知・公開し研究対象者が拒否できる機会を保障する方法による旨の記述を追加するとともに、ホームページ掲載文書を作成する。「3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法（インフォームド・コンセントの手順）」についても同様である。

同意書（試料・情報の長期保管について）

長期保管の年数の5年間は適切ではないので、変更する。

(2) 新規申請（迅速審査）

- ① 申請者： 医学部 脳神経外科学 助教 梅村 武部
課題名： 頭蓋骨原発悪性リンパ腫の臨床像に関する検討
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ② 申請者： 医学部 脳神経外科学 助教 梅村 武部
課題名： 当院における ESUS 症例の検討
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者： 医学部 進路指導副部長 中村 早人
課題名： 産業医科大学卒業生産業医の産業医業務に対する意識の推移
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
課題名： 肺上皮細胞由来サイトカインが肺炎の予後規定因子となるかを明らかにする調査研究
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者： 医学部 呼吸器内科学 講師 川波 敏則
課題名： 肺炎球菌肺炎のインフルエンザウイルス重複感染の有無による臨床的特徴の差異を明らかにする研究
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者： 産業医科大学若松病院 整形外科 助教 清水 勇樹
課題名： エリートサッカー選手における femoro acetabular-impingement (FAI) と第 5 中足骨疲労骨折の関連
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑦ 申請者： 産業医科大学若松病院 整形外科 准教授 内田 宗志
課題名： 大腿骨骨頭軟骨下脆弱性骨折 (SIFFH) に対する股関節鏡視下手術の開発と治療成績
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑧ 申請者： 産業医科大学病院 看護部 看護師 濱 沙緒里
課題名： 腹膜透析導入指導ツールの作成 -5 年間の腹膜透析導入患者の調査-
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。
- ⑨ 申請者： 産業保健学部 基礎看護学 講師 岡田 なぎさ
課題名： 女性看護師が生き活きと働くための要因に関する研究
-妻/母親役割の有無別によるワーク・エンゲイジメントの実態と影響要因、動機付けアウトカム及び健康アウトカムの検討-
審査結果： 審査の結果、「承認」とする。

(3) 変更申請

- ① 申請者： 産業医科大学病院 臨床検査・輸血部 主任 坂西 陽子
課題名： 心不全患者の予後予測因子として BNP、NT-proBNP のどちらが有用か？

審査結果 : 審査の結果、以下の指摘事項を適切に修正の上、再提出されたものを委員長が修正内容を確認した時点で「承認」とする。

[指摘事項]

倫理審査研究計画書

7. 実施事項等における倫理的配慮について 3) 対象者に理解を求め、同意を得る方法 (インフォームド・コンセントの手順)

本研究は、人体から取得された試料を用いる研究であること、匿名化されていないこと等から、対象者からインフォームド・コンセントを受けることを要しない根拠となる「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」の該当箇所に誤りがある。

第5章第12-1- (2) -イ-→第5章第12-1- (2) -ア- (ウ)

12. 対象者から採取した生体試料及び個人情報の保管・廃棄の方法

『使用した生体試料は本研究以外の目的では使用しない。また生体試料は通常の検査業務で使用する試料の残血清であるため、本研究終了後に通常検体の廃棄法 (凍結にて約1ヶ月間保存後廃棄) に準じて破棄する。』は誤りであり、本研究の目的に沿った内容に修正が必要である。

- ② 申請者 : 医学部 薬理学 教授 柳原 延章
課題名 : 職業性ストレスに対するレーダーチャート式自律神経バランス評価
審査結果 : 審査の結果、「承認」とする。
- ③ 申請者 : 医学部 薬理学 教授 柳原 延章
課題名 : 大うつ病性障害における自律神経バランス評価について
審査結果 : 審査の結果、「承認」とする。
- ④ 申請者 : 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右
課題名 : 入院患者における血管内皮機能と糖代謝・脂質代謝・骨代謝・血圧変動との関係を検討する研究
審査結果 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑤ 申請者 : 医学部 第1内科学 講師 岡田 洋右
課題名 : 2型糖尿病患者を対象とした血管合併症抑制のための強化療法と従来治療とのランダム化比較試験 介入終了後の追跡研究 J-DOIT3 (追跡)
審査結果 : 審査の結果、「承認」とする。
- ⑥ 申請者 : 産業医科大学病院 腎センター 部長・診療教授 田村 雅仁
課題名 : 保存期慢性腎臓病のerythropoiesis stimulating agent低反応性腎性貧血患者に対するエポエチン ベータ ペゴル製剤投与時の維持ヘモグロビン値による腎予後の評価 多施設共同、オープンラベル、ランダム化並行群間比較試験 (RADIANCE-CKD Study)
UMIN-CTR 試験 ID:No. UMIN000008617
審査結果 : 審査の結果、「承認」とする。

7 その他

- (1) 藤野委員長から、研究終了報告 24 件、中止報告 4 件及び進捗状況報告 23 件について、資料に基づき説明があり、承認された。

<終了報告>

- H24-068 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：サルコイドーシスが疑われる症例における縦画・肺門リンパ節と気管支肺胞洗
浄液のリンパ球解析
- H24-164 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
課題名：インフルエンザ治療におけるマクロライドの有効性に関するオープン比較試験
- H24-166 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：長期酸素療法導入後の特発性肺線維症患者の予後調査と予後因子の前向き検討
- H24-174 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：高分解能 CT で診断した特発性肺線維症患者における予後予測因子の調査研究
- H24-199 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：肺炎入院症例の入院前抗菌化学療法におけるマクロライド系薬使用実態の調査
- H25-109 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：気管支肺胞洗浄液を用いた肺リンパ増殖性疾患の分子生物学的診断方法の確立
- H25-110 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 川波 敏則
課題名：重症・難治性呼吸器感染症患者に対するドリペネム 3g 投与の有効性・安全性
の検討
- H25-127 申請者：医学部 第2外科学 助教 今西 直子
課題名：低肺機能肺癌手術患者における Tiotropium (チオトロピウム) 吸入の効果に関
する探索的臨床試験
- H25-168 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
課題名：インフルエンザ治療におけるマクロライドの有効性に関するオープン比較試験
- H26-004 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：特発性肺線維症患者における Wnt/ β -catenin シングルの関与
- H26-012 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：特発性肺線維症の急性増悪により死亡に至り病理解剖を行った患者における病
因探索研究
- H26-038 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：自己免疫性膵炎に合併する呼吸器病変の後方視的な探索研究
- H26-047 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
課題名：骨転移を有する進行非小細胞肺癌のうち、骨代謝マーカー高値例に対するゾレ
ドロン酸投与の第Ⅱ相臨床試験

- H26-117 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 山崎 啓
 課題名：公益社団法人日本化学療法学会：公益目的事業プロジェクト研究計画
 「*Clostridium difficile* 感染症 “1日” 多施設共同研究」
- H26-149 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
 課題名：関節リウマチ関連気道病変における気管支鏡検査による下気道の細菌学的検討
- H26-186 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 山崎 啓
 課題名：医療・介護関連肺炎に関する共同調査研究 医療・介護関連肺炎診療の実態調査
- H26-191 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
 課題名：肺炎球菌ワクチンおよびインフルエンザワクチン接種に関するアンケート調査
- H26-227 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：呼吸器感染症の原因菌における肺炎クラミジアの後方視的な検討
- H27-023 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
 課題名：リウマチ関連呼吸器病変合併患者における呼吸器病変と関節リウマチ疾患活動性の調査研究
- H27-161 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
 課題名：特発性間質性肺炎 (idiopathic interstitial pneumonias; IIPs) における臨床・画像・病理を含むデータベースの構築と臨床疫学的研究
- H27-162 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
 課題名：特発性肺線維症の急性増悪リスク因子および生命予後予測因子の検討
- H27-163 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
 課題名：薬剤性肺障害における生命予後予測因子の検討
- H27-198 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
 課題名：肺胞蛋白症、遺伝性間質性肺疾患に関する研究：重症難治化要因とその克服 2次アンケート調査
- H27-208 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
 課題名：特発性間質性肺炎合併肺癌患者の内科治療に関する後ろ向き調査

<中止報告>

- H24-069 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：電気チップを応用した肺癌テロメアーゼ活性測定法の検討
- H24-105 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：気管支喘息患者におけるブデソニド/ホルモテロール配合剤からサルメテロール/フルチカゾン配合剤への切り替えの有用性の検討
- H24-189 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：誤嚥性肺炎と性腺機能低下との関係についての検討

H25-125 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：マイコプラズマ肺炎における抗原キット「リボテスト[®]マイコプラズマ」の有効性の評価

<進捗状況報告>

09-118 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：網羅的な細菌叢解析手法を用いた肺炎の起炎菌調査

H23-120 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
課題名：電子顕微鏡を用いた間質性肺炎患者における気管支肺胞洗浄液中の粉じん解析

H24-035 申請者：医学部 産業衛生学 教授 川本 俊弘
課題名：エコチル調査参加父母児におけるアレルギー等の症状と環境化学物質特異的抗体との関係についての研究

H25-008 申請者：医学部 産業衛生学 准教授 辻 真弓
課題名：環境中および職場の化学物質によるアレルギーについての研究

H25-108 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：肺の生活習慣病の克服を目指した医療ネットワークの構築
—喫煙関連呼吸器難病に対する前向きコホート研究—

H26-028 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：三学会合同抗菌薬感受性サーベイランス =呼吸器感染症=

H26-044 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 西田 千夏
課題名：肺癌化学療法時の低リスク群発熱性好中球減少症に対するシタフロキサシン (STFX) の効果と安全性を検討する第Ⅱ相試験

H26-184 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：厚生労働科学研究委託業務（難治性疾患実用化研究事業）「びまん性肺疾患に対するエビデンスを構築する新規戦略的研究」特発性肺線維症（IPF）の進行防止におけるピルフェニドンおよびピルフェニドン+N-アセチルシステイン（NAC）吸入併用療法に関する前向き多施設共同治療研究

H26-189 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 石本 裕士
課題名：肺病変を有するMCD(Multicentric Castleman Disease)の臨床・画像・病理学的検討

H26-205 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
課題名：成人喘息およびCOPD患者における吸入薬アドヒアランスの検討

- H26-224 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 山崎 啓
 課題名：肺 *Mycobacterium avium complex* 症におけるクリンダマイシンの有効性に関するオープン比較試験
- H26-226 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：肺炎患者における肺炎球菌検出症例における臨床・細菌学的検討
- H26-229 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：細菌叢解析法を用いた呼吸器感染症の原因菌別の患者背景の後方視的な検討
- H26-230 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：COPD（慢性閉塞性肺疾患）患者の気腫性病変の程度と増悪時の原因菌の後方視的な検討
- H27-030 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：呼吸器疾患における一酸化窒素（NO）の役割の検討
- H27-031 申請者：医学部 呼吸器内科学 准教授 矢寺 和博
 課題名：早期がん診断マルチマーカーのプラットフォームとしての電気化学的バイオセンサの開発：電気チップを応用した肺癌および悪性胸膜中皮腫のテロメアーゼ活性測定法の検討
- H27-032 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 山崎 啓
 課題名：16S ribosomal RNA 遺伝子を用いた慢性下気道感染症の進行の検討
- H27-090 申請者：医学部 産業衛生学 助教 土屋 卓人
 課題名：ドットプロット法を用いた化学物質特異的 IgE、IgG 測定と日常生活レベルにおける化学物質曝露およびアレルギー症状との関連性についての研究
- H27-094 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名：気管支肺胞洗浄液を用いた肺リンパ腫の分子生物学的診断方法の確立
- H27-127 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名：びまん性肺疾患に特異的な核酸・タンパクの探索
- H27-180 申請者：医学部 呼吸器内科学 講師 城戸 貴志
 課題名：抗線維化薬で治療を受ける特発性肺線維症患者の前向きコホート研究
- H27-207 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 山崎 啓
 課題名：ガイドシース併用気管支腔内超音波断層法を用いた気管支鏡による末梢型肺癌の診断関連因子の後方視的検討
- H27-227 申請者：医学部 呼吸器内科学 助教 山崎 啓
 課題名：超音波気管支鏡ガイド下針生検における超音波所見・病理所見の比較と診断関連因子の後方視的検討